

肥満症について

病名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
肥満症	<p>◇症状</p> <p>単純性肥満 単純性肥満は、エネルギーの摂取過剰や消費不足によってもたらされたものである。いわゆる暴飲暴食等の「食べ過ぎ」や運動不足である。小児では両親の一方、もしくは両方共に肥満であることが多く、身長が暦年齢相当で、精神運動発達は正常、奇形は見られず、食生活と運動習慣の影響と見られる。</p> <p>病的肥満 病的肥満とは、呼吸や歩行などに困難を来たすほどに高度となった肥満のことであり、しばしば手術の適応となる。</p> <p>症候性肥満 代謝異常や内分泌疾患の一部でも肥満を来たす。これらを症候性肥満と言う。</p> <p>皮下脂肪型肥満 女性になりやすい肥満で臀部や腰周りに付く肥満であり生活習慣病にはなりにくいが、乳癌や子宮癌や関節痛や月経異常や貧血やホルモン低下によって陰毛がわずかにしか生えなくなる無毛症などの生活習慣病と関係ない病気になりやすいと言われている。</p> <p>◇治療</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食餌療法 ● 運動療法 ● 外科的治療法 <ul style="list-style-type: none"> <li style="padding-left: 2em;">胃縮小手術 <li style="padding-left: 2em;">バイパス手術 ● 内科的治療法 <ul style="list-style-type: none"> <li style="padding-left: 2em;">マジンドール <li style="padding-left: 2em;">リラグリチド(インクレチン・アナログ, 治験中)^[8] <li style="padding-left: 2em;">ゼニカル® <li style="padding-left: 2em;">(脂肪吸収阻害剤 orlistat; 日本未発売) 	日本肥満学会

